

【別紙1】喬木村第2期データヘルス計画等 目標管理一覧表を活用した評価

※H28とR1を比較し改善

関連計画	健康課題	達成すべき目的	評価指標	目標値	初期値	実績値			評価後の目標値	
				R5年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度		
特定健診等計画		医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	ⓑ 特定健診受診率	72%以上	75.4%	73.4%	76.8%	76.9%	72%以上	
			ⓒ 特定保健指導実施率	90%以上	67.1%	93.2%	92.6%	91.8%	90%以上	
			ⓓ 特定保健指導対象者の減少率	25%以上	31.0%	27.7%	18.2%	24.5%	25%以上	
データヘルス計画	中長期	①医療費に占める脳血管疾患の割合が県・国と比べ高い。 ②高血圧、糖尿病、メタボリックシンドローム該当者が増えている。	被保険者1人当たりの脳血管疾患医療費	維持	8,563円	5,271円	13,728円	4,782円	維持	
			被保険者1人当たりの虚血性心疾患医療費	維持	2,227円	3,194円	7,387円	5,583円	維持	
			糖尿病性腎症による新規透析導入者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人	
		短期	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム該当者の割合	15%未満	17.3%	17.5%	15.1%	17.9%	15%未満
				健診受診者の高血圧者の割合(160/100以上)	5%未満	5.1%	3.9%	4.8%	4.4%	5%未満
				健診受診者の脂質異常者の割合(LDL180以上)	2%未満	2.8%	1.9%	2.6%	2.2%	2%未満
	健診受診者の糖尿病者の割合(HbA1c6.5以上、治療中7.0以上)			5%未満	5.0%	6.2%	4.7%	4.5%	5%未満	
	糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合			80.0%	77.8%	77.8%	76.7%	80.0%	80%	
	糖尿病の保健指導を実施した割合			80.0%	89.2%	89.7%	94.2%	97.2%	80%	
	保険者努力支援制度	①医療費に占めるがん医療費割合が増加している。	がんの早期発見・早期治療	がん検診受診率 胃がん検診	15%	13.8%	7.9%	10.0%	11.8%	15%
				肺がん検診	15%	12.6%	13.9%	9.0%	13.3%	15%
				大腸がん検診	20%	15.6%	16.7%	15.1%	15.5%	20%
子宮頸がん検診				15%	12.3%	14.1%	13.0%	12.5%	15%	
乳がん検診				25%	23.1%	20.4%	23.3%	27.3%	25%	
自己の健康に関心を持つ住民が増える		健康ポイントの取組を行う住民の割合	30%	/	24.9%	27.0%	21.9%	30%		
後発医薬品の使用により、医療費の削減		後発医薬品の使用割合の上昇	70%以上	63.5%	66.1%	77.0%	79.0%	80%		
Ⓐ	データヘルス計画全体の目標	健康寿命の延伸	平均自立期間 男性(歳)		80.1	79.8	80.2	80.5	延伸	
			女性(歳)		84.6	85.0	84.6	85.0	延伸	
		医療費適正化	1人当たり医療費(円)		23,842	23,591	25,333	23,394	増加抑制	